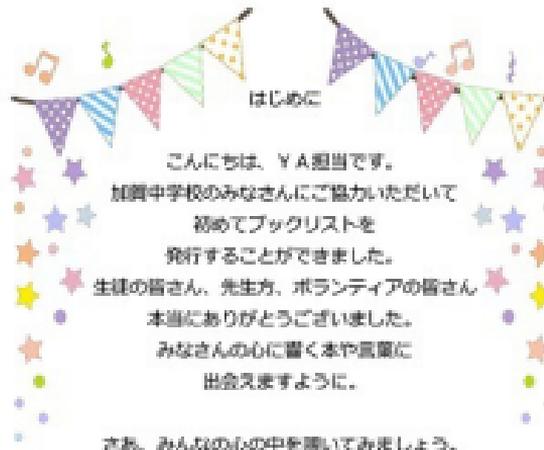


# My Favorite Books



Kyoko Nonoka Hirata

**Kaga Junior High School**



## 目次

Students	3
Teachers	13
Volunteers	17

## 『天久鷹央の推理カルタ』 加賀美寿人 著 新編文庫



## ◆好きな文

「まだ、その状況には“悪漢”というものも存在していないだろう。けれどお前の子供であることは間違いない。君の命を奪うなんて悪行を許さぬな」  
「その子供に、母親を殺すという悪逆の仕事をやり返がさせてやれ」(p.183)

## ◆ここが好き

作中自身が現役の医者で、その知識を使って書いた話です。とてもリアルで、物語なのに現実で起こっているのではないかと思うほどです。(1年 図書委員会)

~~~~~

## 『星の王子さま』 サン＝テグジュペリ 著 新編文庫



## ◆好きな文

「心で笑なくちゃ、ものごとはよく見えないうつとさ。かんじんなことは、目に見えない」(p.127)

## ◆ここが好き

地球のことを知らない王子さまが地球でたくさんのごことを知るうちに、たくさんのごことを考えます。その王子さまは“ほんとうのごこと”しか知りたがらないので大切なことを考えさせられます。(1年 図書委員会)

## 『マンガでわかる量子力学』 堀江 純 S B クリエイティブ



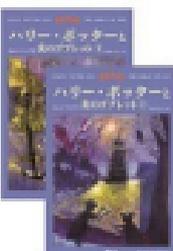
◆ここが好き

マンガでわかるのすく、絵がうまい、キャラクターが良いです。【1年 図書委員会】

Copyright © 2014 by S B Creative Inc. All rights reserved. Printed in Japan.

## 『ハリー・ポッターと炎のゴブレット』

J. K. ローリング 魔法社



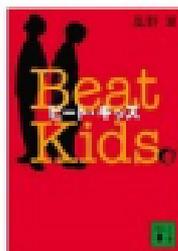
◆好きな文

「さあ、それを喰らえよ」(p.425)

◆ここが好き

非現実的な魔法の世界に入ることのできる本です。とても長いシリーズですが、読むのが苦手な人もこのシリーズを読んだら **本が好き**になるかもしれません。ハリーは勇敢で大層な人の死などたくさん困難に立ち向かいます。恋もあります。恋も無いも、どちらにも意外な結末が待っています。【1年 図書委員会】

## 『ビート・キッズ』 鹿野 潤 講談社



◆ここが好き

中学二年生の主人公英二が吹奏楽部に入り成長していく物語です。たくさんの個性豊かな仲間が出てきてとても面白いです。ぜひ読んでみてください。【1年 図書委員会】

Copyright © 2014 by Tokai Shoin. All rights reserved. Printed in Japan.

## 『人間失格』 太宰 治 株式会社KADOKAWA



◆好きな文

私の多い生涯を送って来ました。(p.8)

◆ここが好き

**すごく面白い**です。太宰の生涯が書かれています。太宰が精神病院に入れられたときに「人間失格」と感じた気持ちを小説にしている、読み始めると止まらなくなります。【2年 図書委員会】

## 『ガフールの勇者たち2 真の勇気の日覚め』

キャスリン・ラスキー 株式会社KADOKAWA



## ◆好きな文

一つ頂はたくごとに、目的地に近づいているという思いが膨まってきたら……。 (p.58)

## ◆ここが好き

ガフールの勇者たちという本が何冊もある中で、ここから物語がスタートします。この先さ中にいろいろなシーンがあり、今後の展開にもつながっていきます。面白いためぜひお読みしたい。 [2年 図書委員会]

~~~~~

## 『ネイマール 父の教え、僕の生きかた』

ネイマール&amp;ネイマール・ジュニア 徳間書店



## ◆好きな文

「ワールドカップが終わってからでもヨーロッパの空は遠くない」 (p.262)

## ◆ここが好き

この本を読んだらネイマール選手はお客様さん思いだという気持ちがおどく気がしたから。 [2年 生徒会]

## 『神様のカルテ0』 夏川摩介 小学館



## 神様のカルテ

## ◆好きな文

「……こういう聖回りなんだね」 (p.182)

## ◆ここが好き

命の大切さを知っている人、自分の夢のために頑張っていきたい人にお勧めしたい本です。 [2年 生徒会]

~~~~~

## 『世界から猫が消えたなら』 川村元氣 小学館



## ◆好きな文

猫というのは大好きなものだ、いつも僕の気持ちには反応してくれないけれど、本気で辛いときはこづしてそばにいてくれる。 (p.154)

## ◆ここが好き

病院、あたりまえの生活をしていく中で、自分の命とひまがえに世界から猫が消えるというのは難しいです。最後の「猫」というところでは、好きなものほど消えてほしくないということを強く感じました。この本は面白くワクワクして、でも命の終わりが近づくとつれて思なく、いろいろと考えさせられるものがありました。もし、自分の命を返すために、自分の大切なもの、人を救済するかと聞かれたらあなたはどうするがをぜひ考えてみてください。 [2年 図書委員会]

## 『君の隣をたべたい』 佐野 双葉 社



## ◆好きな文

「生きるとってのはね」  
「さっさと肩がと心を通わせること。そのものを消して、生きるとって呼吸んだよ」(p.197)

## ◆ここが好き

タイトルが『君の隣をたべたい』なのでインパクトがあり、これぞうたと思うかもしれませんが、読むととても感動してこのタイトルいいなと思えると思います。病気で残り少ない命の「彼女」と、病気だと知ってしまった地味で友だちのいない「僕」の話で、最後まで「僕」の名前が出てこないのが特徴的です。おもしろいところもあり、悲しいところもあり、感動するところもあり、いろいろなことが感じられると思います。【2年 図書委員会】

## 『ハチドリのはたとしづく いま、私にできること』

## 比喩一 亮文 社



## ◆好きな文

「私は、私にできることをしているだけ」(p.12)

## ◆ここが好き

自分が読んでいて、生活者たちはわけ売りと選んでいます。ハチドリだけは行ったり来たりくちばしに1滴ずつ水を運んで火の上に着としていきます。動物たちはそれを見て「こんなことをしていたい何になるんだ」と言っていて笑います。ハチドリは「私は私のできることをしているだけ」と答えます。これは、アンダス地方に昔から伝えられてきた話です。この話で人の心を動かし、勇気を与えます。ぜひ読んでほしいです。【2年 生徒会】

~~~~~

## 『虹色ぼたる 永遠の留休み』 川口 龍 社 アルファベリス



## ◆好きな文

たった一パーセントの可能性を信じて……(p.309)

## ◆ここが好き

- ・登場人物の心情の変化を見ることができる
- ・昔の良いとことと現在の良いとこと書いてある
- ・昔の中でその場面を想像することができて自分の世界が広がる

まとめー1つ1つの文章から作者の伝えたいことを見つかるのがすごく楽しいから。【2年 図書委員会】

~~~~~

## 『ハリー・ポッターと賢者の石』 J.K.ローリング 角川 社



## ◆好きな文

「ものには必ず適切な名前を付けないと、名前を恐れていると、そのものの命に対する恐れも大きくなる」(p.439)

## ◆ここが好き

世界的に有名な児童文学なので、どんな人にも一度は読んでもらいたいです。読み進めていくと、どんどん本に引き込まれていきます。ワクワク・ドキドキが止まりません。【2年 図書委員会】

## 『鉄の骨』 池井戸潤 講談社



## ◆ここが好き

主人公が一発逆転を賭し、建設会社の買収者と駆け引きをするところが好きです。中堅の建設会社に勤めている主人公が異動した部署で「談合」について知ります。会社のためにそれに加わるか、正義を信じて談合に反対するか悩めるところがとてもしリアルに表現されているところがおもしろいです。必要悪ともいわれる談合に立ち向かう主人公の姿がとてもしっかりしています。【3年 生徒会副会長】

~~~~~

## 『何者』 横溝リョウ 新潮社



## ◆好きな文

ほんとうにたいせつなことは、ツイッターにもフェイスブックにもメールにも、どこにも書かない。(p.147)

## ◆ここが好き

読者の顔などで直接情報が入ってくるわけではありませんが、その中でも人間関係など含めて成長していく様子は読み応えがあると思います。西木舞を受賞し映画化も決まっている作品です。【3年 図書委員会】

## 『エンジェルボール4』 南野謙吾 双葉社



## ◆好きな文

愛するものすべてを幸せにそれが、わしの願い。(p.314)

## ◆ここが好き

野球を通じて深まる家族の絆、そして心温まる友情が面白い。家族・野球を愛する男の選択と生き様が心を揺さぶる。【3年 図書委員会】

~~~~~

## 『パラドクス13』 東野圭吾 講談社



## ◆好きな文

「生きる希望を失う最大の要因は、愛恨の喪失感だ」(p.422)

## ◆ここが好き

世界が変われば善悪も変わる。人殺しが善になることもある。これはそういうお話です。運命の13秒。人々はどこへ消えたのか。世界と切り離された別の世界で彼らは生きた。3月13日13時13分13秒。彼らは死んだ。私がこの本を手にとった理由は、一冊東野先生の本を読んでいたと思ったからです。読めば読むほど引き込まれ、まるで取り憑かれてしまったかのようになり一気に読み進めることができました。大抵、この手の題はハッピーエンドのどちらかだろうと思っていましたが、結果どちらでもなく、高揚感と喪失感の両方がいっぺんに押し寄せてくるという不思議な感じでした。読んでみなくてはわからないこの感じをたくさんの人に知ってもらいたいです。【3年 図書委員会】

### 『阪急電車』 有川 浩 少年書



#### ◆ここが好き

阪急電車を舞台にしたオムニバス形式の小説。ひと駅ごとにドラマがあります。もののつひとつが繋がって大きなひとつの物語を構成します。駅を変えながら主人公が変わり、前後で少しずつ重なっているのです。また、「往路」と「復路」で時間が流れていて、前年見てまたドラマのその面が見られます。有川浩さん特有の分かりやすい文体でスラスラ読むことができます。1時間くらいで読めて「いいおぼだ」と思える1冊です。少し心がきれいになった気がする作品です。

【3年 図書委員会】

### 『ナミヤ雑貨店の奇蹟』 東野圭吾 株式会社KADOKAWA



#### ◆ここが好き

読み進めていくごとに、過去と現在の話がすべてつながり面白かった。

【3年 図書委員会】

#### ◆ここが好き

はじめはバラバラだと思っていたストーリーが実はすべてつながっていて・・・最後まで驚きの連続でした。時間を忘れて一気に読んでしまいました。

【学校支援地域本部図書ボランティア】

### 『いなくなれ、青春』 矢野龍 新潮文庫



#### ◆好きな文

この物語はどうしようもなく、彼女に出会った時から始まる。(p.31頁)

#### ◆ここが好き

失くしたものは何か、心を穿つ青春ミステリ。読み終わったとき、もう貴方の心は奪われてしまっているだろう。(3年 生徒会副会長)

### 『はなちゃんのみそ汁』 安武信子 安武千穂 安武はな 文芸文庫



#### ◆好きな文

「うー、うー(全部食べたの。明日もまた作ってあげようね)」(p.225)

#### ◆ここが好き

生きることは食べること。“生きる力”に感さふられて、感動した。(3年 生徒会長)

## 『手紙屋』 宝雷語～私の受験勉強を変えた十通の手紙～

著者/原 ティスカバートのエンティツ



## ◆好きな文

人間は人のためにこそ、より強い意欲を持って行動できるようにできています。これが人間のすばらしいところだと私は思います。(p.220)

## ◆ここが好き

あなたは「何で勉強しなけければいけないの？」と大人に聞いた経験はないだろうか？質問した大人から「頑張って勉強しなけければならないのは、できなくて困るのはあなたなんだから・・・」「自分の将来のために頑張らなさい」なんていう答えが返ってきて「でも困るのは私なんだからほっといてよ」なんて思ってしまった経験はないだろうか？

『手紙屋』という事は、将来の進路に悩む女子高校生が、手紙屋という正体不明の相手と文通をする話です。十通のやりとりの中で、人がなぜ勉強しなけければいけないのか、という疑問が次第に解けていくお話です。

胸の痛い理由も、私が中学校の時に読みたかった本だからです。当時の私は、勉強は自分の将来のためにするんだ、と思い込んでいたからです。自分のための勉強は、壁にぶつかったときに簡単に折れるものでした。ちょっとやそつとじゃへこたれない強靱な『勉強する意味』がつかめる本です。

加えて、中学生時代に夢を壊さなくなる糧もも提供されています。ぜひ一読を！ [校長]

## 『コーヒーが冷めないうちに』 川口信博 サンマーク出版



## ◆好きな文

「コーヒーが、冷めないうちに……」(題詞)

## ◆ここが好き

「恋人」「姉妹」「夫婦」「親子」の4つの視点からなります。舞台となっているのは小さな古い喫茶店です。そこには不思議な力があってその席に座って坐じるとタイムスリップができるそうです。私は電車の広告で「4回立ちます」の意味を知りたくて買って読みました。先ほどの4つのテーマから人として「思いやり」ということを考えさせられました。この小説は過去に戻って現在や未来を変えるというSFではありませんが、読み終わると身近な人がいとおしく感じられると思います。上の『好きな文』は結構めば意味がわかります。[副校長]

~~~~~

## 『西の魔女が死んだ』 東条浩伊 新潮文庫



## ◆好きな文

悪魔を倒すためにも、魔女になるためにも、いちばん大切なのは、意志の力、自分で決める力、自分で決めたことをやり遂げる力です。(p.70)

## ◆ここが好き

魔女になる、そればかり大人になるといつか、大人になるために、自分のやりたいこと、喜び、幸せまでも全て自分で決めることの大切さをこの本が教えてくれました。何かに迷ったり、悩んだりしている人に読んでほしいです。きっと明日からの自分に自信が持てるでしょう。[教員]

## 『舟を編む』三浦しんぞ 角文社



## ◆好きな文

「まみは、『右』を説明しろと書かれたら、どうする」「ペンや筆を使う手のほう」と言うと、右利きのひたを複製することになりまし、「心臓のないほう」と言っても、心臓が右がひたにあるひともいるそうだからぬ。『舟を北に向けたとき、東にあたるほう』とでも説明するのが、無理ではないでしょうか。(p.25)

## ◆ここが好き

日本語の1つ1つの言葉や、じっくり考えることができる文体であり、辞書作りの過程を知ることができるドキュメンタリー本でもある。そして、赤西の面白い話しや、独特な登場人物たちが繰り広げるユーモラスな恋愛小説でもある。1冊の本がこんなにも楽しませてくれるのか、と思う作品だった。ぜひ、そんな思いを生み出した皆さんにも共有してほしい。辞書科として「辞書」と「数字」は理屈しいものと思っていたが、言葉の定義の整合性を確認していく様子は、とても論理的でまるで証明を読んでいるに近い感覚があった。そういったことも含め、とても楽しめる一冊だった。【教員】

## 『流れる星は生きている』藤原てい 中央公論新社



## ◆好きな文

日本人の合った星の一つの星点が流れていた。見るとそれは藤原さんのこうもり軍であった。そしてもの森の下に小さいものの星があった。(p.207)

## ◆ここが好き

この星は実話です。昭和20年8月9日(夜中に原爆が投下された日)シベリアの夜、満州新京の健康台(現在の風景台)に勤める夫(のちに新田次郎として作家となった)はシベリアに強制され、幼子3人を連れて日本に引き揚げたとき、藤原ていさんの**壮絶な苦難と人間愛に溢れたお話**です。上の『好きな文』の後、子どもたちと親しい中国人の家に一時避難させてもらうことになります。また、次男の藤原正彦氏はアメリカのコロラド大学でも数学を教え、「国家の品格」を書いたエッセイスト。こちらもぜひ読んでみてください。【教員】

## 『幸福な食卓』栗原まいて 講談社



## ◆好きな文

「すごいぞ？ 気持ちいいところで中傷しているのやられてるってこと」(p.58)

## ◆ここが好き

父さんをやめると宣言する父、妊娠中の母、元養育生の兄。そして主人公の愛知子も苦難を抱えています。家族それぞれが危うい**バランスの中で、自分を保ちつつ、家族を思いや**っているところ。タイトルの意味を考えさせられる作品です。家族以外の登場人物も大好きです。【図書館司庫】

## 『生き抜く力を身につける』

桐蔭学園・ちくまブリーダー新編編集部/編 筑摩書院



### ◆好きな文

いくらでも選択肢のあるこの社会で、私たちは意思しさを感  
じている。既存の枠組みを超えてきた先人達から、見取り図  
のない時代を生きるがバイナリ技術を学ぼう！(裏表紙)

### ◆ここが好き

「どうすれば大学に入れるか」のガイドは世間にあふれている  
が「大学で何を学べるのか」についての良質なアドバイス  
はまだまだ少ない。こちらは地の着目線でご活躍の先生方に  
大学でなされているクオリティのままに「学問」を紹介して  
いただくシリーズです。正確のない問いに直面した時こそ必  
要な「考える力」を育み、今こそ学ぼう！

【学校友誼地域本部読書ボランティア】

## 『まちがったっていいじゃないか』 倉前 筑摩書院



### ◆好きな文

人間はみな違う。そこが、おもしろい。ほくがいたいと思うもの  
を、他人はそう考えなかったり、ほくには少しもいいと思えぬ  
ことも、他人は数に入ったりしている。人ごとに、さまざまの  
強みがある。そこが、とてもいい。

ほくは、自分が身により大事だと思っているが、その自分のた  
めには他人が必要で、したがって、他人をとっても大事に思う。  
それも、自分と意見が違ったり、好みが違ったりしてくれる他  
人がたくさんいてくれて、とてもありがたい。(p.213)

### ◆ここが好き

どんな大人にも今の中学生のみなさん  
と同じ悩みがありました。ぜひ中学生のみなさ  
んに読んでほしい一冊です。親御さんにもオススメです。

【学校友誼地域本部読書ボランティア】

## My Favorite Books Moga Junior High School

2017年1月 初版第一刷

### 著者

桐蔭区立加賀中学校図書委員会・生書会

桐蔭区立加賀中学校教諭・学校支援地域本部読書ボランティア

### 編集

桐蔭区立東校読書部Y人担当 今子貴也

### 発行

桐蔭区立東校読書部(<http://r.goops.jp/1316-w41gash1/>)

(指定管理者 丸善・東急コミュニティー共同事業体 丸善株式会社)

T 173-8600 東京都板橋区加賀1-18-18

Tel : 03-3279-2695

表紙：板橋区立加賀中学校 加々美杏子、酒田野々華、谷川駿

印刷：プリントバック

©2017 桐蔭区立東校読書部